

第2編

基本構想 2018～2029

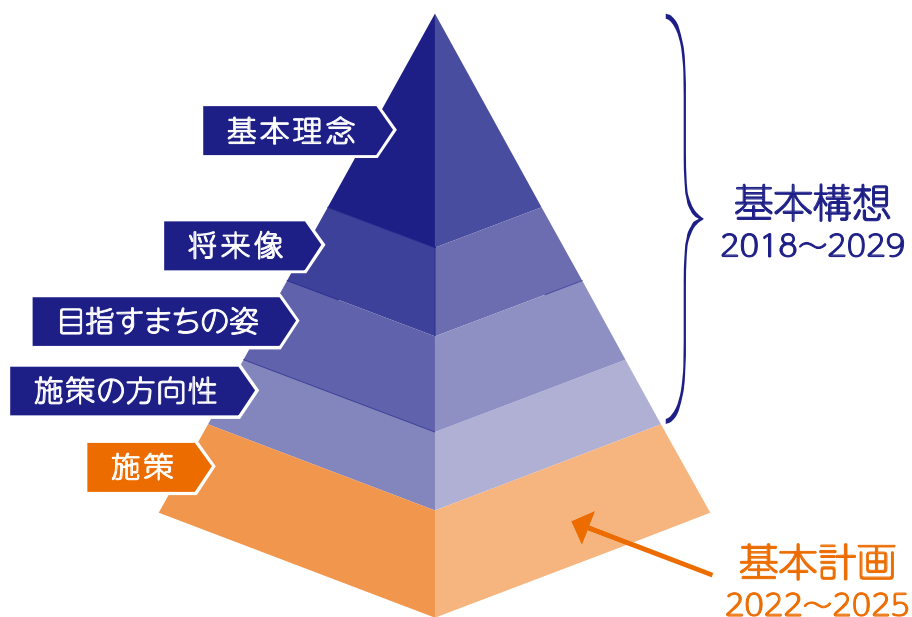




鳥見山から自然豊かな市街地を臨む

第1章 前期基本計画から継承する基本理念と将来像

基本構想で定めた「基本理念」や目指す「将来像」、「将来像」の実現に向けた6つの「目指すまちの姿」、「施策の方向性」を、中期基本計画でも引き続き継承し、これからのまちづくりに取り組んでいきます。



基本理念

- 一、すこやかな心とからだを保ち、だれもが生きがいを見いだせるまちを育てます。
- 一、共に支え合い、互いの尊厳を大切にする、あたたかいまちを創ります。
- 一、人と自然が共生しひびき合う、やすらぎに満ちたまちを守ります。
- 一、歴史や先人の英知に学び、文化と産業の伸展する、活力あるまちを目指します。

将来像

みんなが生きがいをもって暮らせる魅力ある健幸なまち 宇陀市
～輝く歴史と豊かな文化の息づくまち～

第2章 基本構想における目指すまちの姿

宇陀市の将来像を実現するための「目指すまちの姿」について、6つの柱を定めています。

目指す まちの姿 1

健幸なまち

「健幸都市“ウェルネスシティ宇陀市”」の実現を目指し、地域住民がいいきと健康に生活できる環境や、市民一人ひとりがお互いに助け合い、支え合うまちづくりの実現を進める必要があります。

そのため、保健・医療・福祉が連携し、健康づくりを行うとともに医療環境の充実や母子保健施策、障がい者施策、高齢者施策等の充実を図ります。また、「自助」「互助」「共助」「公助」の理念を浸透させ、地域の特性を活かしながら、「健幸」を実現するためのまちづくりを進めていきます。

目指す まちの姿 2

暮らしやすいまち

宇陀市の魅力をより向上させるため、様々な都市基盤について、持続可能な整備・維持・活用を検討・実施することで、誰もが住み良く、安全・安心なまちづくりを進める必要があります。

また、公共交通、道路交通網、上下水道、情報通信基盤等の公共インフラの整備・維持・活用による住み良いまちづくりや移住・定住の促進を進めるとともに、災害に備えた安全・安心な暮らしの実現を進めていきます。

目指す まちの姿 3

活力あるまち

豊かな自然や歴史、文化遺産といった地域資源が数多くある中で、中心市街地の活性化や雇用の創出、人材の確保が求められています。

そのため、地域資源の保全と活用や、農林畜産業・商工業の再生・活性化に努めることで、活力と個性ある地域産業の創出、持続可能な地域経済の発展を図ります。また、多様化する観光ニーズに対応するため、地域資源のPR活動をはじめとした観光戦略を推進し、関係人口の増加を図ります。

目指す
まちの姿

4

生涯輝くまち

誰もがお互いの人権を尊重することは重要です。いじめ問題等がなく、性別や障がいの有無にかかわらず、自分らしく生涯を通じて輝き、よろこびや生きがいをもって暮らせることは、宇陀市が目指す将来像の実現に向けた基本となります。

そのため、誰もが学び、働き、活動できる地域づくりを進めるとともに、宇陀市に住む誰もが地域で学習活動やスポーツ・レクリエーション活動等に取り組める環境の整備を図ります。また、地域の特性を活かした教育と文化振興を進めます。

目指す
まちの姿

5

自然豊かなまち

地球温暖化やエネルギーの大量消費など、自然を取り巻く環境問題は宇陀市も例外ではありません。宇陀市の魅力である、豊かな自然や美しい田園風景と調和したまちづくりを維持し、さらに強化していく必要があります。

こうした環境問題への対処や宇陀市の魅力の向上を図るため、カーボンニュートラルによるグリーン社会の実現に向け、自然と共生した、持続可能で快適なまちづくりを進めます。

目指す
まちの姿

6

地域力を発揮するまち

地方分権の進展や行政需要が複雑・多様化する中、市民のニーズを的確に把握することが重要となっています。しかし、財政の健全化が緊急課題とされている中、行政だけで多様なニーズや高度な課題に対応することは困難であり、地域が一体となって対応することが求められています。

そのため、市民、ボランティア団体等と行政が連携することで、自分たちのまちについて考え、取り組む体制を強化し、地域力を最大限に発揮できるまちづくりを進めます。

第3章 人口ビジョン

宇陀市の総人口は、出生者が死亡者を下回る「自然動態の減少」、市内への転入者が市外への転出者を下回る「社会動態の減少」により、1995年をピークに減少しています。

年齢別人口では、年少人口（0歳～14歳）と生産年齢人口（15歳～64歳）が減少、老年人口（65歳以上）は増加しています。国立社会保障・人口問題研究所が2018年に公表した宇陀市の将来推計人口は、全国的な減少よりも早いペースで進んでおり、2030年には22,249人となり、2020年に比べ5,872人減少し、特に生産年齢人口は3,952人、年少人口は780人減少すると予測されています。今後、現状のまま何もしない場合には、市民の生活にとって重大な影響を与えると考えられます。

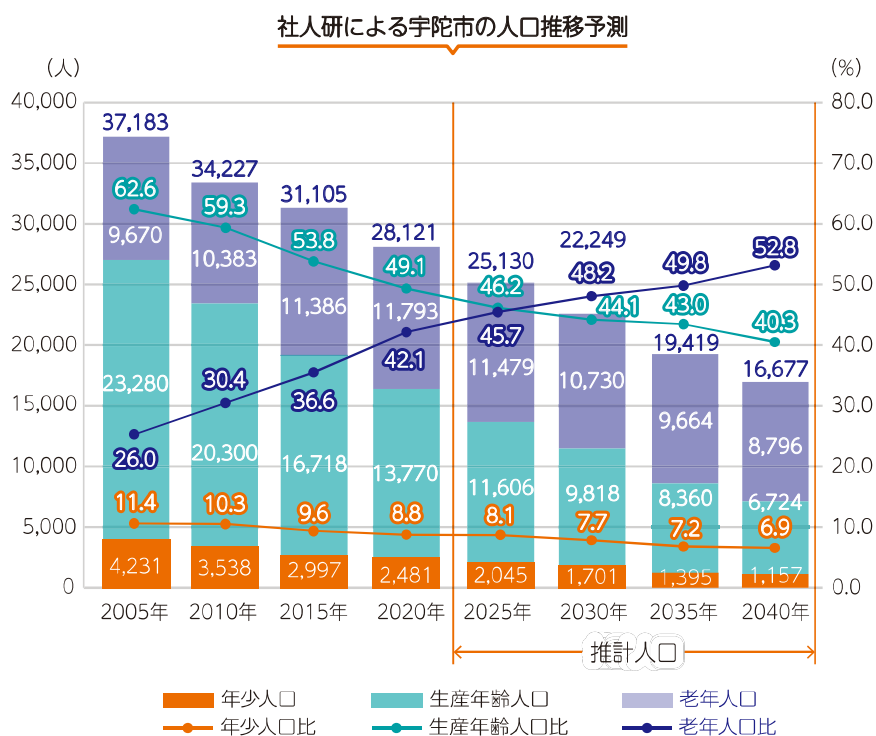
この人口ビジョンは、宇陀市における人口の現状を分析し、中期基本計画で目指す将来像「みんなが生きがいをもって暮らせる魅力ある健幸なまち 宇陀市 ～輝く歴史と豊かな文化の息づくまち～」の実現に向けたまちづくりを進めることを目的としています。

(1) 人口の現状と分析

人口の推移と将来の見通し

宇陀市の住民基本台帳人口は、合併した2006年1月の38,626人から2022年1月には28,576人になるなど年々減少が続いています。

国立社会保障・人口問題研究所によると、国勢調査の人口では2040年には16,677人になると推計され、年齢構成を見ると年少人口の割合が少なく、老年人口の割合が増えることが予測されています。



はじめに
宇陀市の紹介

中期基本計画の
策定にあたって

基本構想

基本計画

健幸なまち

暮らしやすいまち

活力あるまち

生涯輝くまち

自然豊かなまち

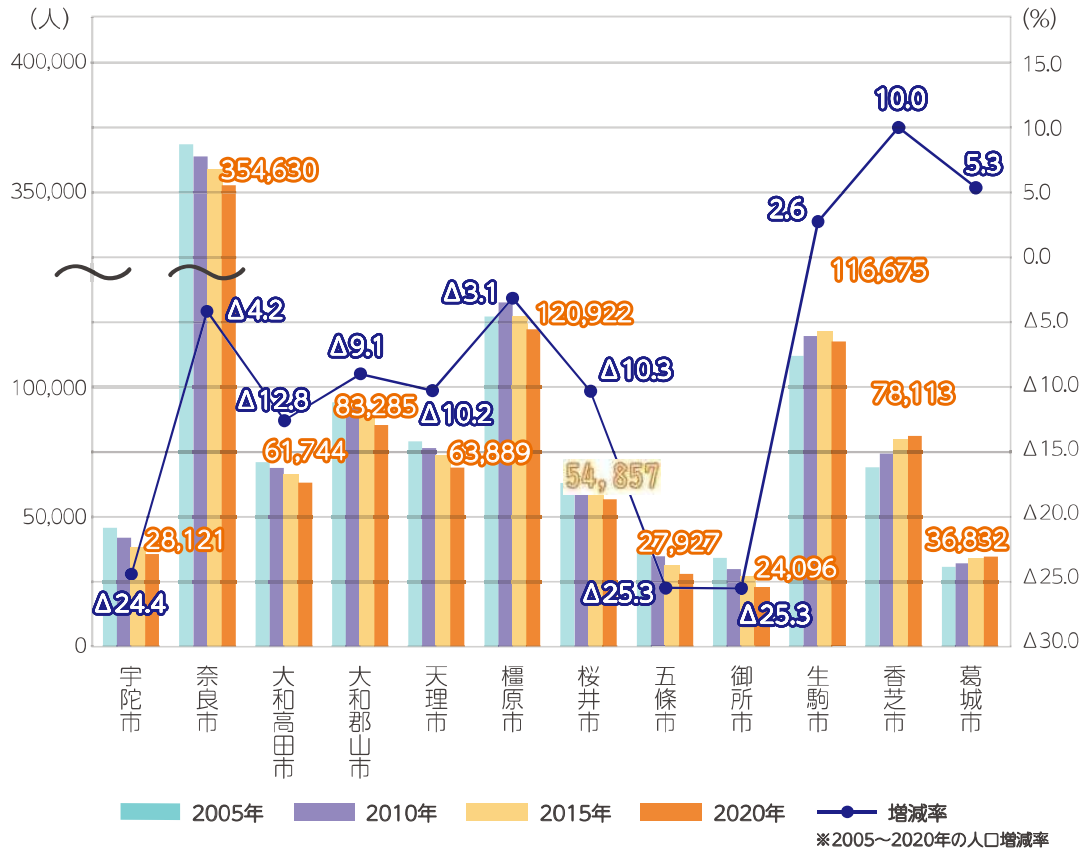
地域力を発揮するまち

資料編

資料編

資料編

県内各市の人口増減状況

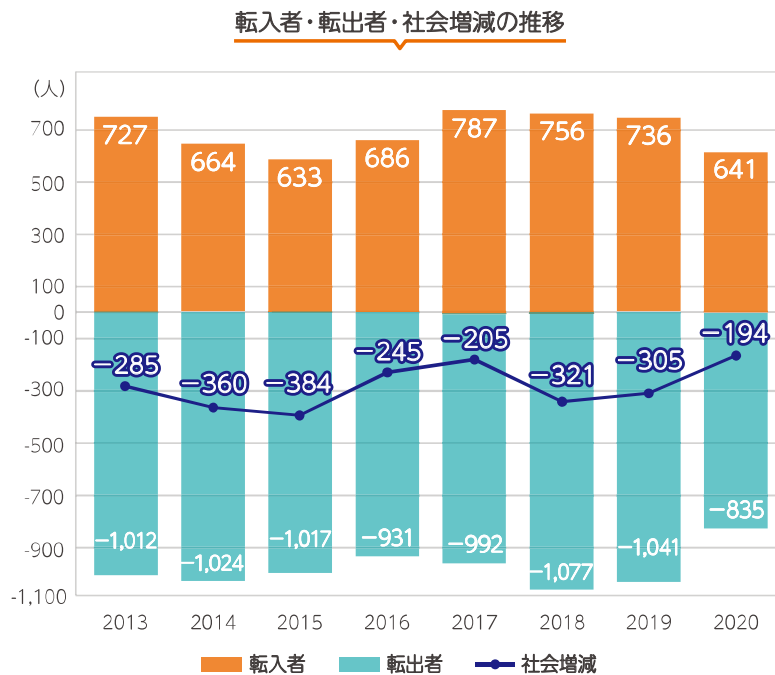
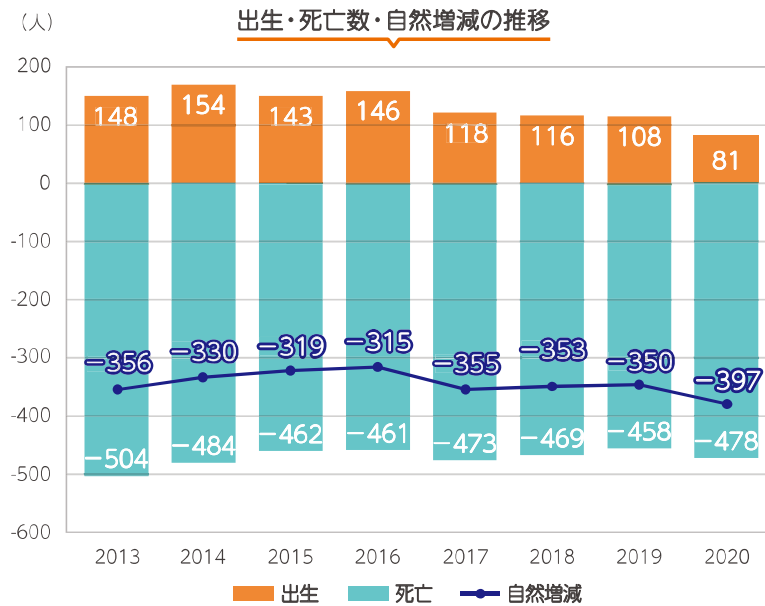


注) グラフ中の人口は、2020年の数値です。

※2005～2020年の人口増減率

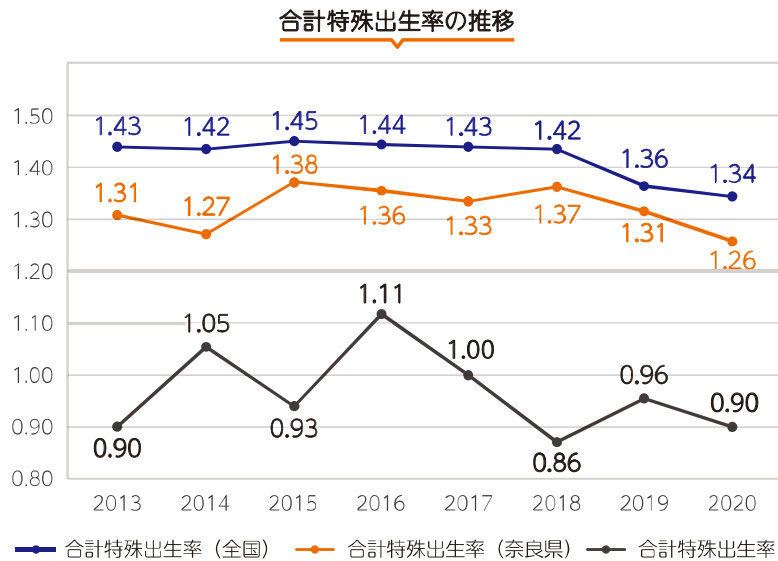
出生・死亡(自然増減)と転入・転出(社会増減)

宇陀市の出生・死亡者数は、出生者が死亡者を下回る「自然減」の状態が続いています。転入・転出者数は、転入者が転出者を下回る「社会減」の状態が続いています。総人口の推移については、人口減少が続いています。



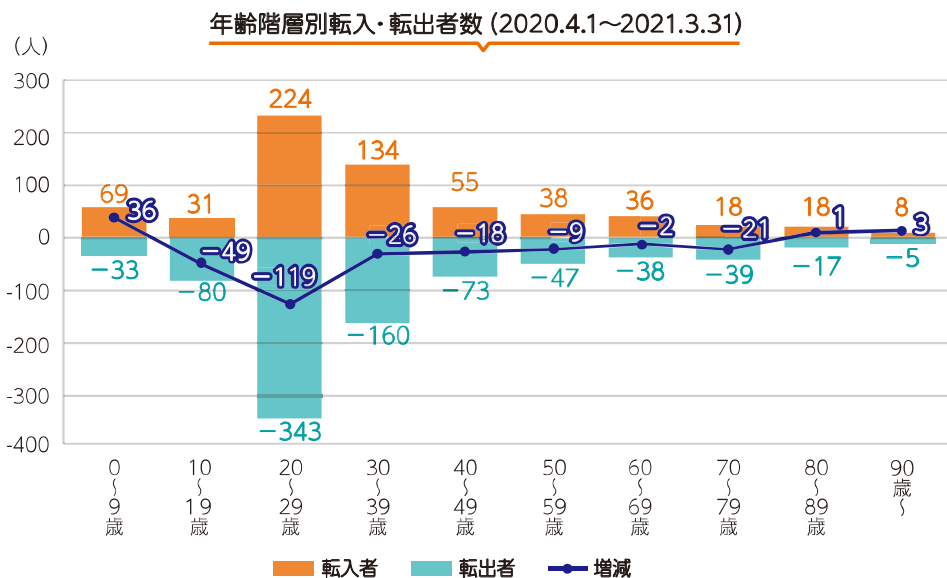
自然減の要因

死亡数はほぼ横ばいであるのに対して、出生者は減少しています。また、合計特殊出生率は、2018年以降1.0を下回る低い水準となっています。これは、奈良県や国の数値を大きく下回っています。このため、自然動態による増減は、自然減が続いています。



社会減の要因

2020年度の年齢別人口移動では、若い年代に多くの転入・転出が見られます。これは、就職等に伴う移動が考えられ、10～19歳、20～29歳、30～39歳にかけて特に転出超過となっています。9歳以下等での転入超過は見られるものの、全体では社会減が続いています。



(2) 将来人口

人口減少の進展は、地域の需要低下や労働力人口の減少による経済活動の縮小を引き起こし、雇用が不安定になることで結婚や子育て・出産にも影響が及びます。

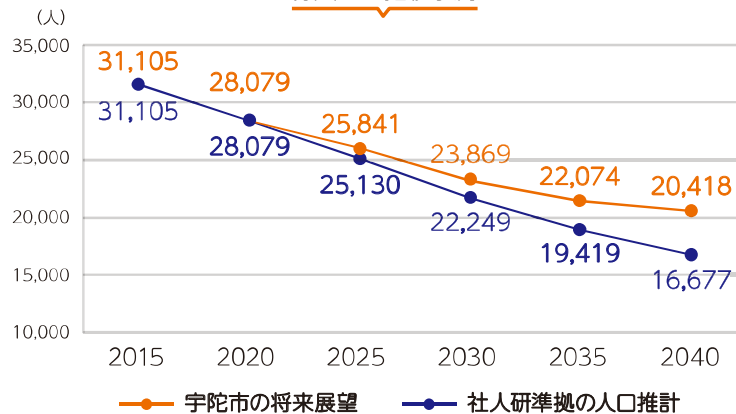
こうした負のスパイラルを防ぐために、農林畜産業の振興や事業所活動・企業誘致による地域の活性化、まちの魅力向上の取り組みを通して継続的な好循環を生み出すことで、目指すまちの将来像の実現を目指して、まちづくりを進めていきます。

まちづくりを実施していく中で、各分野の施策をPDCAサイクルにより見直していくことで、出生数の増加や転入・定住者の増加、高齢者の健康寿命の延伸を図り、2040年の人口20,000人を保てるよう、事業を実施していきます。

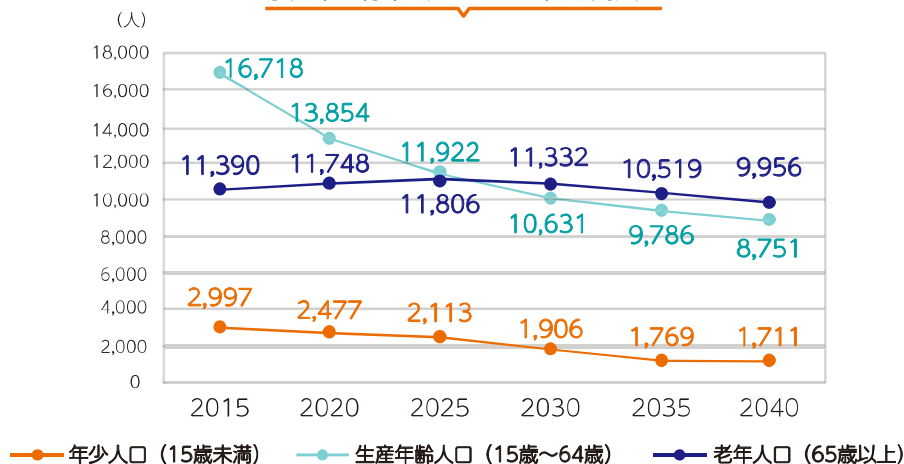
将来人口 (2040年)

20,000人

総人口の推移予測



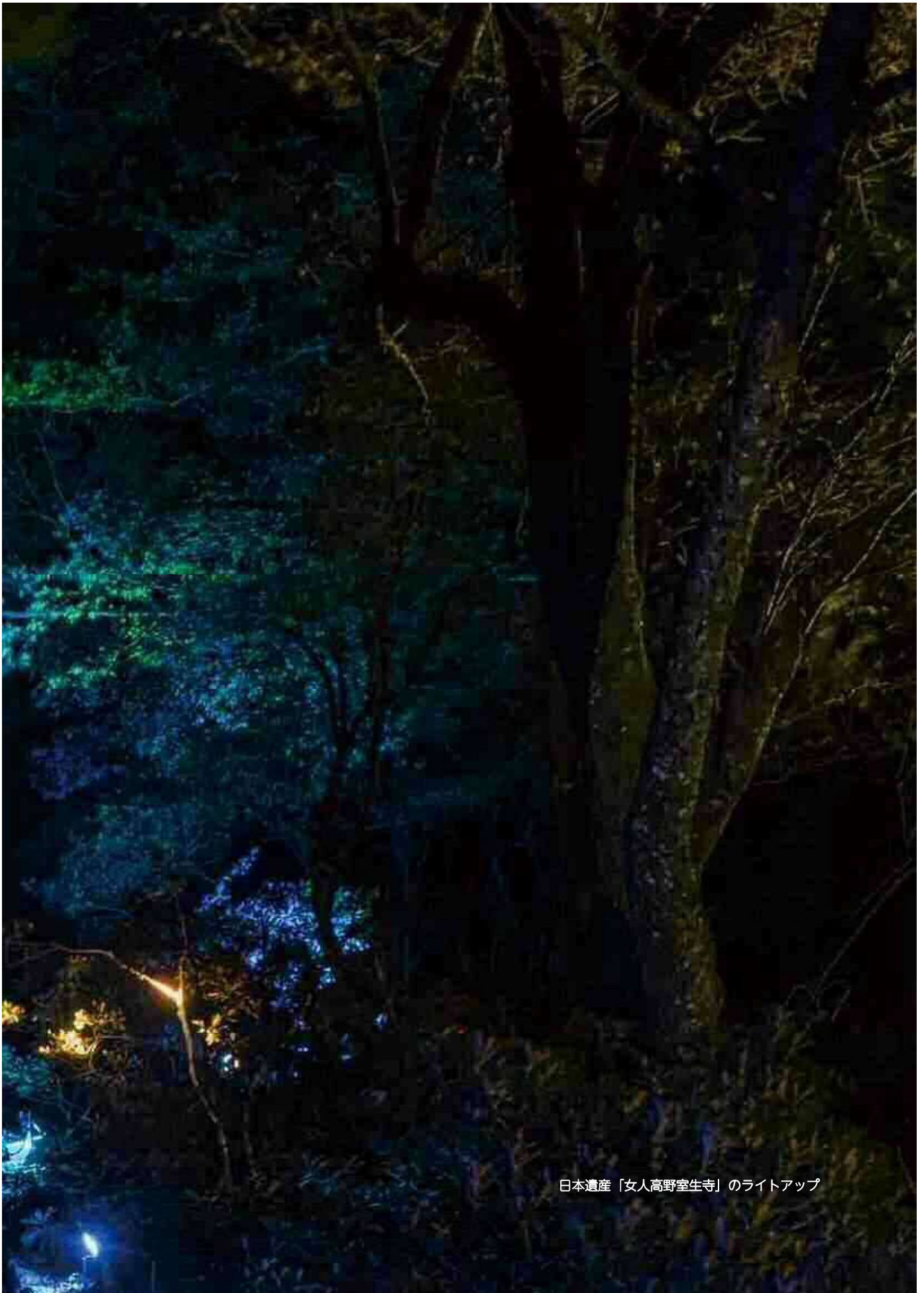
宇陀市の将来展望における階層別人口



第3編

中期基本計画 2022~2025





日本遺産「女人高野室生寺」のライトアップ

第1章 まちづくりの成長戦略

宇陀市では、これまでに将来像を実現するために6つの「目指すまちの姿」を掲げてまちづくりに取り組んできました。人口減少に対応するための地方創生への取り組みをはじめ、SDGsの推進、そして新型コロナウイルス等の新たな脅威から市民生活を守るための取り組みなど、更に推進していく必要があります。

今後も引き続き、市民生活を守り、暮らしやすい宇陀市を維持しながらも変化し続ける社会情勢に対応するため、また、目指すまちの姿の実現をより一層、加速させるために、将来を見据えた人口減少対策など「しごと・ひと・まち」の地方創生の取り組みを成長戦略として打ち出し、その牽引役となる先導的、戦略的、横断的な取り組みをリーディングプロジェクトとして位置づけて、取り組んでいきます。

リーディングプロジェクトは、地方創生に関する施策を、横断的に取り組むとともに、今後4年間、重点的に推進することで、将来像「みんなが生きがいをもって暮らせる魅力ある健康なまち 宇陀市 ～輝く歴史と豊かな文化の息づくまち～」の実現を図るものです。

また、デジタル技術の活用やカーボンニュートラルによるグリーン社会の実現に向けた動きが注目されています。宇陀市でも、これらの新たな視点を盛り込むことで、これまでの施策をアップデートし、より良い宇陀市の実現に向けて取り組んでいきます。

高原都市宇陀を成長させるリーディングプロジェクト（中期基本計画）

しごと



ひと





第2章 施策体系



基本計画

新たな視点

施策

デジタル化の推進

カーボンニュートラルによるグリーン社会の実現

- ①新型コロナウイルスなど感染症予防や対策の充実を図ります
- ②健康づくり活動による健康長寿のまちを実現します
- ③高齢者の介護予防を推進します
- ①だれもが住み慣れた地域で安心して生きがいを持って暮らせるよう支援します
- ②面倒見のいい地域福祉を推進します
- ③医療費の助成による安心して暮らすを実現します
- ①保護者のニーズに応じた子育てしやすい環境づくりを推進します
- ②子どもが健やかに育つよう支援します
- ③産前産後の支援・乳幼児への支援の充実を図ります
- ①医療体制の充実を図ります
- ②地域医療と福祉の連携を推進します
- ①景観や環境を大切にすまちづくりを推進します
- ②交通安全対策や防犯、消費者保護を推進します
- ①土地利用を推進します
- ②移住・定住者への総合的な支援の充実を図ります
- ①安全で快適な道路環境を整備・維持します
- ②ニーズに応じた地域公共交通を推進します
- ③効率的で安心・安全な上下水道の運営を推進します
- ①自然災害や感染症に強い安心して住み続けられるまちづくりを推進します
- ②防災意識の向上と防災・消防体制の強化を図ります
- ①歴史・文化資源の整備や保護・活用を推進します
- ②宇陀産の誇れるものを「大和高原宇陀ブランド」として推進します
- ①起業家など多様な人材を育成します
- ①地域の特性を活かした農業生産基盤の整備と農地の有効活用を推進します
- ②人材の確保と育成など魅力ある農林畜産業経営の強化を図ります
- ③農林畜産物の生産・流通を推進します
- ④山林を適切に管理します
- ①駅前活性化を推進します
- ②地元で活動する事業者を支援します
- ③企業誘致を進めるとともに新たな産業の展開を支援します
- ①魅力ある地域資源を維持し、観光地として整備します
- ②満足度を高める取り組みを推進し、観光客や関係人口を増やします
- ③観光PRや情報発信の強化を図ります

基本構想

成長戦略

将来像

目指す
まちの姿

施策の方向性

成長戦略

みんなが生きがいをもって暮らせる魅力ある健幸なまち 宇陀市
 〳輝く歴史と豊かな文化の息づくまち〳

生涯輝くまち

- 4-1 人権を大切にする共生のまちづくりの実現
- 4-2 子どもたちの教育環境の充実
- 4-3 多様な学びの場の整備・充実
- 4-4 スポーツ・芸術・文化の振興

自然豊かなまち

- 5-1 豊かな自然環境の保全・活用
- 5-2 生活環境の整備・充実
- 5-3 公園・緑地の整備・活用

地域力を発揮するまち

- 6-1 市民と行政の協働のまちづくり
- 6-2 健全な行政運営の推進
- 6-3 広域行政の推進
- 6-4 地域力の再生・強化

高原都市 宇陀ではたらく
 〳産業・観光の振興〳

高原都市 宇陀でくらす
 〳移住定住・子育て支援の充実〳

高原都市 宇陀でつながる
 〳健幸・安心安全・活力ある地域づくり〳



基本計画

新たな視点

施策

デジタル化の推進

カーボンニュートラルによるグリーン社会の実現

- ①一人ひとりの人権が尊重されたまちづくりを推進します
- ②あらゆる分野での男女共同参画を推進します
- ③仕事と生活の調和がとれたワーク・ライフ・バランスを推進します

- ①児童生徒の「よりよく生きる力」を育てます
- ②児童生徒の教育環境を整えます

- ①生涯学習環境の充実を図ります
- ②地域社会全体で子どもの育ちを支えます

- ①スポーツ活動の充実を図ります
- ②芸術・文化の振興を図ります

- ①豊かで美しい自然環境を保全・活用します

- ①ごみ処理施設の整備と循環型社会を推進します
- ②生活衛生環境の向上を図ります

- ①快適に利用できる公園・緑地空間を提供します

- ①情報発信の充実を図ります
- ②市民協働のまちづくりを推進します

- ①わかりやすく丁寧な行政サービスを提供します
- ②新たな時代に対応できる行政運営を確立します
- ③持続可能な財政運営を確立します

- ①広域行政を推進します

- ①市民のまちづくり活動を支援します

第3章 施策と持続可能な開発目標 (SDGs) との関係

基本構想		貧困	飢餓	保健	教育
目指す まちの姿	施策の方向性	1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 持続可能な健康と福祉を 	4 質の高い教育を
健康なまちづくり	1-1 「健幸都市 “ウェルネスシティ宇陀市”」の実現		●	●	
	1-2 みんなの幸せを支える福祉環境づくり	●	●	●	●
	1-3 結婚・出産・子育て世代への魅力ある支援の充実	●	●	●	●
	1-4 地域医療体制の充実			●	
住みよいまちづくり	2-1 みんなが住みよいまちづくりの実現			●	●
	2-2 移住・定住の促進強化	●		●	●
	2-3 公共インフラの持続的な整備・維持・活用			●	
	2-4 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現			●	
活力あるまちづくり	3-1 地域資源の保全及び産業と連携した活用				
	3-2 地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成				
	3-3 基幹産業である農林業の再生・活性化				
	3-4 商工業の再生・活性化	●			
	3-5 観光戦略の推進			●	
生涯輝くまちづくり	4-1 人権を大切に共生のまちづくりの実現				
	4-2 子どもたちの教育環境の充実	●	●	●	●
	4-3 多様な学びの場の整備・充実			●	●
	4-4 スポーツ・芸術・文化の振興			●	●
自然豊かなまちづくり	5-1 豊かな自然環境の保全・活用				
	5-2 生活環境の整備・充実		●	●	●
	5-3 公園・緑地の整備・活用				●
地域力のまちづくり	6-1 市民と行政の協働のまちづくり				●
	6-2 健全な行政運営の推進				
	6-3 広域行政の推進				
	6-4 地域力の再生・強化				●

ジェンダー	水・衛生	エネルギー	経済成長と雇用	インフラ、産業化、イノベーション	不平等	持続可能な都市	持続可能な消費と生産	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段
5 ジェンダー平等を促進しよう ♀	6 安全な水とトイレを世界中に 💧	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに ☀️	8 働きがいも経済成長も 📈	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 🏢	10 人や国が不平等をなくそう ⚖️	11 住み続けられるまちづくりを 🏠	12 つぶや消費、つばや生産 ♻️	13 気候変動に具体的な対策を 🌍	14 海の豊かさを守ろう 🐟	15 陸の豊かさも守ろう 🌳	16 平和と公正をすべての人に 🕊️	17 パートナーシップで目標を達成しよう 🤝
	●		●		●	●					●	●
			●								●	
					●	●						●
				●		●					●	●
	●		●	●		●		●	●	●		●
				●		●		●				
			●			●		●				
			●			●				●		●
	●				●						●	
	●						●				●	
						●					●	●
						●					●	●
						●					●	●
	●	●				●	●	●	●	●		
	●					●	●		●	●		●
			●			●						●
				●		●					●	●
			●	●		●	●	●			●	●
						●				●		●
						●						●
						●						●